

第44回日豪経済合同委員会

議長総括

第44回日豪経済合同委員会では、3日間の会議におけるプレゼンテーションにおいて、相互のコミットメントと将来の機会を構成する中核となる、広範囲にわたる両国のビジネス関係が詳細に論じられました。豪州副首相兼運輸大臣のマーク・ヴェイル氏は歓迎レセプションでのスピーチにより、1976年の日豪友好条約締結の記念すべき30周年に触れられ、現在の大変強力な日豪関係に対する政府の評価を表しておられます。

特に36名のスピーカーの方々には、貴重なお時間をプレゼンテーションやコメントの準備に割いて頂き、2日間にわたる本会議の6つの全体会議と今朝のテクノロジーエキスポジョンにて重要な意義や課題に富んだ発表をしていただいたことに感謝致します。

本会議は「統合：新しいアジアの形成」というテーマのもと開催されました。

マッコーリーグループの Head of Asia Corporate Finance & Global Head of Telecommunications, Media, Entertainment and Technology を務めておられるアンドリュー・ロー氏は、今世紀後半において優位性を占めるであろう“New economy”産業において、日豪両国はリーダーとなり得る存在であると述べられました。

両国の生活基準は、その世界経済との繋がりにおいて確固たるものとなったが、ロー氏は両国に対して、国家統治・透明性・犯罪検挙・汚職に関連する訓練プログラムを通じ、その将来を形成する事を率先して行うべきであると投げかけ、その活動が両国にとり長期的な利益をもたらすであろうと述べました。

ロー氏は、同時に域内における両国の利益を深く傷つけるであろう国家主義・外国人疎外の高まりに対して用心すべきであると促しました。

引き続き全体会議では、次の課題が述べられました。

- 日本 / 豪州経済の変革：ビジネス関係への潜在的インパクト
- F T A の経験の共有
- 資源：拡大を続ける需要
- 企業の資産保護と活動の維持 - 感染症の世界的流行への対応
- 域内における協力
- アジア地域の観光産業の可能性

更に、啓発に富んだテクノロジーエキスポジョンでは、トーマス・バーロー博士より「想像を越えるモノ」との題目で基調講演を頂きました。バーロー博士のもと、電気原材料科

学、自律システム、情報通信、臨床科学、量子コンピューター技術など 5 つのテクノロジーの発表がありました。

会議中、プレゼンテーションを行った方々及び質疑応答における参加者の皆様は、自国、第三国または両国におけるビジネスにおいて、二国間経済の多様性を追求するべく議題の提起を行いました。これには以下が含まれます。

- 過去10年間明白に低調であった双方向投資の修正を行うこと
- 他の OECD 諸国の成長率と同程度に両国がサービス貿易を増加させること
- 国と地方政府の負債を一掃すること
- 豪州エネルギー開発への投資による先駆者利益獲得
- GMO 問題の再考は必要ではあるが、早魃に耐え得る次世代穀物を開発すること
- 日豪両国の規制への調和
- 豪州政府の3段階にわたる過剰規制は供給懸念であること
- 特に為替変動がコストへもたらす影響が示す両国の観光産業における統計上の懸念
- 今や観光産業に次いで4番目の規模に位置する豪州の教育輸出産業には、他のビジネス分野に見られるような日本との関係が無いこと
- 第三国における日豪の共同ビジネス活動は IP 権利の認識と保護の改善により強調されること
- 租税条約を改訂し、日本からの投資に資本コストが不当に多くかかっている状況を解決せねばならないとの共通の認識

我々のディスカッションの核心は、FTA の交渉を通じてのみ、我々のビジネス関係が引き続き強化されるということであります。

両国経済関係は強固であります。更なる統合の進展は日豪両国に多大なる利益をもたらすであろうと多くのスピーカーが認めておられます。これまでの両国政府による EPA/FTA の可能性に関する共同研究は事実上終了し、正式な FTA の交渉に向けた政治的決断が間もなくなされるであろうとの期待が広く表明されました。

本会議の冒頭に申し上げましたように、日豪の運営委員会において、EPA/FTA に関する共同声明のドラフトを討議しました。ドラフトでは、両国政府は EPA/FTA の交渉を遅滞なく開始することが必須であるとの結論を出しました。

我々は第 44 回日豪経済合同委員会会議の決議として、本件の採択について皆様の同意を得たいと存じます。

個々のセッションに関するより詳細な議事録については、別途数週間のうちに準備いたします。本議長総括が我々の共通の考えを述べるものであることを今井会長にもご了承いただきました。